

分析信頼性実務者レベル講習会
—第 17 回ダイオキシン類分析技術セミナー—

**「ダイオキシン技能試験」結果の解説や機器分析、PCB、POPs に関する講演も追加
講義のみの参加も受け付けます**

主催 (公社)日本分析化学会

協賛 (一社)日本環境測定分析協会 極微量物質研究会

日本分析化学会は、ダイオキシン類分析に携わる実務者を対象に、2000 年からダイオキシン類分析技術セミナーを開催して、正しい分析技術の普及に努めて参りました。第 15 回からは、より実務に即した講義内容に見直し、基礎から最新技術情報まで豊富に盛り込んだものとしております。

本セミナーは、実技試験と講義を実施するものと、講義のみでの参加も可能です。特に今回は、日本分析化学会が過去 18 回実施したダイオキシン技能試験や標準物質作製に関する講演も行います。過去にダイオキシン技能試験参加機関の方々に対しましても、セミナーを利用して技能試験後の是正に関するフォローに非常に参考になります。

実技試験ではダイオキシン類濃度未知試料を参加者に事前に配付し、約 2 ヶ月かけて実技試験(抽出・前処理・分析)を実施し、詳細な分析結果報告書を提出していただきます。分析値の統計処理による解析結果の他に、報告されたデータ等から分析技術上の問題点を指摘・講評します。

セミナー(講義)ではダイオキシン類分析はじめ第一線で活躍している研究者、分析技術者による 2 日間の講義を行います。1 日目は主に実技試験受講者を対象として前処理から定量までと、ダイオキシン技能試験や標準物質作成に関する講演、2 日目には最新技術情報に関する話題、分析のポイントと精度管理を中心に講義し、フリーディスカッションも行います。さらに、受講者には受講テキストと、『現場で役立つダイオキシン類分析の基礎』(オーム社)を事前に配布します。

参加者におかれましては、ダイオキシン類分析の技術レベルを確認し、分析実務を通じて抱えている具体的な問題点、疑問点などを解決する能力が涵養されることが期待されます。また、現場の技術者の世代交代など、試験所の技術伝承や若手育成のみならず、新しい極微量分析対象物質の最新技術情報を得るためにも本セミナーは大変有効です。

なお、本セミナー参加者の所属機関が試験所認定を受ける際には、ダイオキシン類分析に関する技術教育を受けたことの実績として評価されます(セミナー受講者には受講証を、筆記試験と実技試験合格者には修了証を発行します)。

日 程 受講申込締切：2017 年 5 月 24 日(水) 必着 (なお講義のみの参加は随時受け付けます)
実技試験共通試料の配付：2017 年 6 月 2 日(金) までに送付予定
分析結果の報告締切：2017 年 7 月 28 日(金) 必着
講習日(セミナー)：2017 年 10 月 19 日(木) 10 時～19 時
2017 年 10 月 20 日(金) 9 時 30 分～16 時 30 分

会 場 株式会社島津製作所 東京支社 2F イベントホール(東京都千代田区神田錦町 1 丁目 3)
<http://www.an.shimadzu.co.jp/general/contact/map/tokyo.htm>

受講料 会員 60,000 円、協賛学協会会員 80,000 円、会員外 100,000 円

(講義のみ受講の場合は、両日受講:会員 35,000 円, 協賛学協会会員 45,000 円, 会員外 60,000 円。
1 日目あるいは2 日目のみ受講: 会員 20,000 円, 協賛学協会会員 30,000 円, 会員外 40,000 円)。
(テキスト代含む)

定員 50 名。(10 名未満の場合、中止することがあります。)

対象者 ダイオキシン類分析の実務を担当する技術者, 管理者あるいは関連部門のスタッフ。

目的 個人の分析技術レベルの確認と, 分析技術の維持向上のための教育研修。

測定試料 底質

講義内容

第 1 日 {10 月 19 日 (木) 10:00~19:00}	
挨拶 (10:00~10:05)	
1. ダイオキシン類の試料採取 (10:05~11:00) 55min 1-1 排ガス (灰)・環境大気・作業環境 1-2 水質 1-3 底質・土壌	(元製品評価技術基盤機構) 浅田正三
2. ダイオキシン類の試料調製とクリーンアップ (11:10~12:20) 70min 2-1 排ガス (灰)・環境大気 2-2 水質 2-3 底質・土壌	(元中外テクノス) 後藤壽久
3. ダイオキシン類の定量と GC-HRMS (13:20~14:30) 70min	(日本電子) 小野寺潤
4. ダイオキシン類分析のコツ・妨害成分とクリーンアップ・測定分析技術 (14:40~15:50) 70min	(島津テクノリサーチ) 高菅卓三
5. 日本分析化学会が実施したダイオキシン技能試験の講評と標準物質について (16:00~17:10) 70min	標準物質作製委員会 委員長 松村徹 技能試験実行委員会 委員長 浅田正三
6. 情報交換会 (17:20~19:00) 「失敗事例」の紹介など: 1. 試料調製, 2. 前処理, 3. 機器分析, 4. その他 (機器、器具等) 「失敗」の原因と推奨すべき解決策について自由に情報交換できます	
第 2 日 {10 月 20 日 (金) 9:30~16:30}	
7. 機器分析技術 GC-MS と LC-MS/MS (9:30~10:40) 70min	(島津製作所) 近藤友明
8. PCB 分析技術と関連情報 (10:50~12:00) 70min	(三浦工業) 濱田典明
9. POPs 等 (塩素系農薬, 臭素系難燃剤など) 分析技術 (13:00~14:20) 80min	(島津テクノリサーチ) 高菅卓三
10. ダイオキシン類分析のポイントと定量値の取扱い, 精度管理及びフリーディスカッション (14:30~15:15) 45min	(元製品評価技術基盤機構) 浅田正三 (島津テクノリサーチ) 高菅卓三
11. 筆記試験 (15:30~16:30)	(実技試験受講者)

※講義演題，講師は予定です。講義に使用するテキストは 10 月初旬に前送する予定です。

筆記試験 実技試験受講者には、2 日目の講義終了後、基本的な知識についての筆記試験を行います。講義のみの参加者でもご希望があれば筆記試験への参加は可能です。

判定 セミナー受講者には「受講証」を，筆記試験と実技試験合格者には「修了証」を発行します。実技試験は全分析項目をロバスト法 z スコアを用いて判定，筆記試験は講義内容の理解度の確認をします。受講証，修了証は講習会終了後，郵送します。

受講申込方法 日本分析化学会ホームページの「Menu」→「講習会・セミナー」→「ダイオキシン類分析技術セミナー」ページにある「受講申込用紙」をダウンロードしてください。以下の項目をご記入のうえ，E-mail 又は FAX で申し込みください。(1)「第 17 回ダイオキシン類分析技術セミナー」と題記，(2) 受講者氏名，(3) ふりがな，(4) 年齢，(5) 勤務先，(6) 勤務先（連絡先）住所（郵便番号，所在地，所属，電話・FAX 番号，E-mail），(7) 会員区分（会員又は会員外，本会会員は会員番号を明記），(8) 受講区分の選択，(11) 受講料金額を明記のうえお送りください。(9)・(10)・(12) は記入不要です。なお，電話での申し込みは受け付けません。

送金方法 受講申込をいただきますと，受領通知をお送りします。請求書は受講申込締切の後に送付いたしますので指定口座に受講料をお振り込みください。振込手数料は貴方でご負担ください。なお，受講料の返金はいたしませんのであらかじめご了承ください。

申込・問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号

(公社)日本分析化学会ダイオキシン類分析技術セミナー係

[電話：03-3490-3351，FAX：03-3490-3572，E-mail：koms@jsac.or.jp]